

J A主催の、グラウンドゴルフ大会が開かれる プレーを通じて、会員同士が交流を深める



▲大大会長から表彰を受ける工藤さん

J A年金友の会が主催する第11回グラウンドゴルフ大会が、7月9日に大潟村多目的広場で開催されました。

あいにくの雨模様での開催となりましたが、各地区から総勢78名の参加者が集まり、元気にグラウンドゴルフを楽しみました。随所に熱気あふれるプレーが見られ、会員たちは腕を競い合うと共に、年に一度の大会で親交を深めました。

優勝には、工藤隆光さん(二ツ井地区)〈スコア78・ホールインワン2回〉が輝き、「優勝できて嬉しいですし、皆さんとプレーして楽しかったです。」と話してくれました。



各支部で、年金友の会総会が開催 各種イベントを通じて、会員同士の絆を強める



▲100名を超す会員たちが二ツ井支部総会に出席

J Aでは7月4日の藤里支部を皮切りに、各支部で年金友の会総会を開催し、平成24年度事業報告や平成25年度事業計画などを協議しました。

藤里支部総会では、袴田組合長が「皆さんのおかげで、今のJ Aがあります。これからも元気で、地域を盛り上げてください。」と激励しました。また7月11日に行われた二ツ井支部総会では、畠山支部長が「今日の総会を通じて、これまで以上に地域のつながりを強めて欲しい。」と話しました。協議の後には、会食やアトラクションなどが催され、会員同士の親睦が図られました。



J Aみょうが部会(工藤寿部会長)は7月30日、特産品であるみょうがの収穫・出荷を目前に控え、目揃会を開催しました。

生産者やJ A、市場関係者等が参加し、これまでの生育を確認するとともに、今後の管理についても説明を行いました。市場関係者は、「今年には全国的に出荷が遅く、需要の高いお盆に向けて、単価の上昇が期待できる。適期収穫を心掛け、より多く白神産みょうがを市場に提供して欲しい。」と呼びかけました。またJ Aから出荷規格等が説明され、参加者は高品質みょうが出荷を誓い合いました。



適期収穫による、高品質みょうがの出荷を目指す 需要期へ向けて、みょうが目揃会を開催



▲白神ブランド強化に向け、出荷規格を確認